

糸魚川市議会

SHINSEIKAI

新政会だより Vol.1

平成18年1月9日 発行

発行
糸魚川市議会 新政会
広報委員会
発行責任者
新政会広報委員長
伊藤文博
連絡先
糸魚川市須沢3294番地
電話 025-562-3988

謹賀新年



糸魚川市議会 議場にて

ご挨拶

明けましておめでとうございます。
本年もよろしく願います。

新糸魚川市誕生後、9ヶ月が経過しました。私たち新政会は、政策集団を
目指し、国政レベルの党派にこだわら
ずに、糸魚川市の将来を真剣に考える
良識派の党派として発足し、活発に活
動しています。

基本理念

友愛・公平・公正・効率を

旨とする。

スタンス

保守・中道路線

米田市政を是々非々で支える。

党派会議を頻繁に開催し、会員の情
報交換、政策・議案に対するディスカ
ッション、一般質問内容の討議など活
発に意見を交わし、党派全体のレベル
アップを図っています。市民の皆様
のために、糸魚川市議会の政策集団と
しての特色を発揮していきたいと願っ
ているところであります。

今後ともご指導の程、よろしく願
います。



会 長
畑野 久一

新市の一体感を醸成

旧一市二町合併に伴う新系魚川市議選において市民の皆さんから暖かいご支援を頂いて、引き続き議会活動を通じ新市の発展を担うことになりました。

私は新市の一体感を醸成に務める中で

産業振興による雇用創出と

若者定着の促進

子育て支援と教育環境の充実

医療・福祉・健康づくり施策の拡充

基幹交通網の有機的整備

等に重点を置いて、積極的に政策提言を図っていく決意であります。

幸いに、私たち「新政会」は政策の研究と市政の進展に並々ならぬ熱意を持ったメンバーに恵まれていきますので、クラブとしての総合力発揮に一層努力したいと思っております。

市民各位のご理解とご支援を心からお願い申し上げます、ご挨拶とします。



副会長
野本 信行

誠実に行動

新系魚川市議会議員選挙で、青海地区選挙区から多くの方々の方々の力強いご支援を得て当選させていただき、その責任の重大さを痛感しております。

我がふるさと新系魚川市は、人口の減少、少子高齢化の進行、厳しい財政状況等の重大な行政課題を抱えております。

私は“郷土愛と情熱をもって誠実に行動”を政治信条として

人と地域が一体となった生活環境を！

元気で活力のある郷土を！

安全で快適な環境を備えた地域を！

住民参加によるわかりやすい政治を！

の実現に向け、同志会派の仲間共々研鑽努力をして参る決意であります。

市民皆さまの暖かいご支援を心からお願い申し上げます。



幹事長
斉藤 伸一

「活力ある街・誇れる街」の実現

昨年の合併時において皆様のご支援により、再度議会へ送り出していただき厚くお礼申し上げます。

さて、新系魚川市として輝かしい期待に満ちる中、経済構造の変化、少子高齢化の進行などの難問に直面し、新たな経済システムの構築が緊急の課題となっております。特に当市の人口が5万人を切り、市としての人口減少率6%という最悪の状態の中で、人口減少の歯止めが最重要施策と考えます。

産業振興による雇用確保

子どもを多く産める環境づくり

高齢者が長生きできる取り組み

をおし進めます。

一人では限界がありますが、政策集団『新政会』の仲間と研鑽し、住民代表としての責務と役割を自覚し、清新で活発に議会活動を邁進してまいります。本年もご指導ご鞭撻をお願いいたします。



副幹事長
伊藤 文博

有り合わせ精一杯

市民の皆様のご支援により新系魚川市船出の市議会へ送り出していただいております、あつという間に9ヶ月が経ち、無事新年を迎えることができました。

新系魚川市建設に掛ける思いは益々熱く、町議会と市議会の違いにも慣れ、「新国会」の情熱あふれる先輩・同輩に恵まれて勉強日々の毎日であります。

子ども達が伸び伸び育つ
高齢者に優しい 高齢者が元気
若者が定着 女性が力を発揮
豊かな自然を大切にしました環境に優しい

という6つの「地域づくり」を私のメインテーマに、市政発展のために自らの持つ力「有り合わせ」を精一杯尽くし、また、その「有り合わせ」を日々高める正精進を心掛けてまいります。

益々のご指導、ご支援をお願い申し上げます。



会計担当
平野 久樹

「住民が基点」のまちづくりを

4月に実施されました新系魚川市議会議員選挙におきまして皆様から寄せられた暖かいご支援により、初当選をさせていただきました。

経験するものすべてが初めての体験であります。新国会の先輩議員に手ほどきを受けながら

「過去にとらわれない柔軟な発想」と「若さと行動力」で広域となった新系魚川市の一日も早い融和を図るため、「経済・教育・文化の振興」の実現に向けて政策提言を行ってまいります。

そして「住民が基点」を基本に、生涯住み良いまちづくりを目指し、行政と住民の皆様とのパイプ役として精一杯努力致します。

一層のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

政務調査報告

新国会では、新市の課題克服のために積極的に調査活動を行っています。

栃木県鹿沼市（H17年7月）

調査内容 / リサイクルに関する

取り組み

平成16年1月に環境都市宣言、ISO14001（環境マネジメントシステム）を認証取得し、環境保全活動を推進していた。

リサイクルセンターは五つのブロックに分かれて機能していた。

リサイクル展示室 会議・研修室
リサイクル工房 リサイクル保管庫
ストックヤード

岩手県北上市（H17年7月）

調査内容 / 新幹線開業に伴う

企業誘致の取り組み

昭和30年代から企業誘致施策を推進し、現在でも人口が順調に増加、この10年間で1万人増加し、現在は人口9万3千人の、事業所数、従業員数、工業出荷額とも岩手県内トップの活気ある地方都市であった。市長以下三役が市内各企業を年に1回は訪問するなど、トップセールスマンとして産業振興に取り組んでいた。

調査内容 / 新幹線開通に伴う駅周辺整備及び人口増対策について

二戸市は、岩手県内陸部の最北端に位置し、青森県と接している。東北新幹線盛岡・八戸間開業に伴い、二戸駅周辺は大きく変貌した。開業2.5年経過し、その後の状況について伺い、当系魚川市における新幹線開業に向けた取り組みの参考とした。

駅舎及びカシオペアメッセ（展望タワー、物産センター、イベントホール、メッセホール）視察

メッセホールでは、夜市が開催されており、市民が沢山集まり盛況であった



在来線は第3セクタIとして運営されており、調査のために乗車した。

調査内容 / 過疎地の指定から人口増へ向けた取り組み（人口約一万一千人）

少子化対策への具体的施策

約58km²と旧能生町の1/3の面積に5つの保育園があり、そのうち2園で延長保育、1園に児童館の併設など多彩な保育サービスの推進を行っていた。

雇用確保に向けた企業誘致について

土地開発の特別会計を5〜6億円の規模で編成し、基金も15億円に達している。昭和57年から9社12工場の誘致に成功、現在も町長自ら経営陣と情報交換を積極的に行うなど、企業の誘致と定着に向けた努力を惜しまない。

若者定住への宅地開発の推進

昭和45年に過疎指定、以来過疎脱却を大きな目標として定住施策を実施してきた。4団地693区画を年次計画により順次整備分譲、環境整備としてCATV網他のまちづくりを併せて推進。

以上の結果、平成7年より人口が増え、平成2年の10,232人が平成17年11月1日現在で11,493人となっている。

調査内容 / 行財政システムの改善に向けた取り組み

平成16年からの「行財政システム改善大綱」及び「同実施計画」を策定するに当たり、職員で構成する「行財政システム改善検討委員会」及び市民公募（全員）57名による「同推進委員会」を設置し、検討を重ねた。

ここで特筆すべきは推進委員会のメンバー全員が定員なしの公募による市民であるということ。大竹市長の政策3本柱の一つである、「市民参加」が市民に浸透し、57名もの公募委員が誕生した。当市における委員選出とは大きな違いがある。市民協働のあり方が問われる。本年6月からは、旧委員が自主的に集い、勉強会を開催している。

編集後記

暖冬・少雪の長期予報から一変、今冬は12月から大雪です。2つのスキー場を抱える当市にとっては恵みの雪となるでしょうが、市民の皆様には、くれぐれも交通事故・雪の事故にご注意ください。